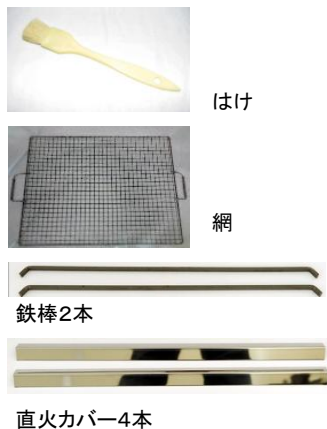


## 商品イメージ



## 付属品



## 商品詳細

サイズ: H190xW450xD230  
LPガス使用量: 0.67Kg/h

## 注意事項



風が吹き込まない環境で使用



使用中・使用後は高温注意



水平状態で使用



可燃物を周辺に置かない



換気できる環境で使用



機材への落下物に注意



機材の上下裏表注意



遮熱板を使用

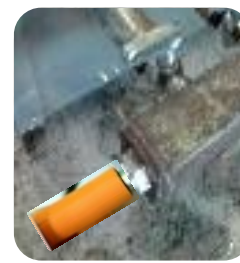
●はじめて使用する場合やしばらく使用しなかった場合は、バーナーやホース内に空気が入っており、すぐに点火しません。空気が出きるまで、**何度か点火作業を繰り返してください。**

●持ち運びの際は**ガスパイプを持たない**てください。

●直火カバーをせずに使用すると、落ちたタレや油でガス噴射口がふさがってしまいます。必ず**直火カバー**を使用してください。

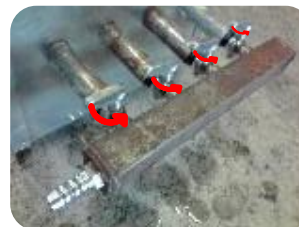
●本商品は重い**ため、持ち運びの際には十分ご注意ください。**

## ①ガスホース接続



矢印の方向に差込みます。使用中に抜けないようにホースに付属する留め金で固定してください。

## ②開栓



ガスボンベの元栓を開き4カ所のコックを開きます。(矢印方向で開栓します)

## ③着火



ガス噴射口に着火します。100円ライター等ではなく、首の長いチャッカマンを使用してください。着火されたことを目視確認してください。(明るい場所では火が見えにくくなります)着火後、バーナーに**直火カバー**を被せてください。

## ④空気調整



開く  
締める



(○:青火 ×:赤火)  
赤火は不完全燃焼状態です。青火なるまで、空気調整をしてください。

## 商品イメージ



運搬時に持たない

## 付属品



たれ入れ



鉄棒2本



直火カバー2本

## 商品詳細

サイズ：H150xW710xD140

LPガス使用量：0.37Kg/h

## 注意事項



風が吹き込まない環境で使用



使用中・使用後は高温注意



水平状態で使用



可燃物を周辺に置かない



換気できる環境で使用



機材への落下物に注意



機材の上下裏表注意



遮熱板を使用

●はじめて使用する場合やしばらく使用しなかった場合は、バーナーやホース内に空気が入っており、すぐに点火しません。空気が出きるまで、**何度か点火作業を繰り返してください。**

●持ち運びの際は**ガスパイプを持たないでください。**

●直火カバーをせずに使用すると、落ちたタレや油でガス噴射口がふさがってしまいます。必ず**直火カバー**を使用してください。

●本商品は重いため、**持ち運びの際には十分ご注意ください。**

## ①ガスホース接続



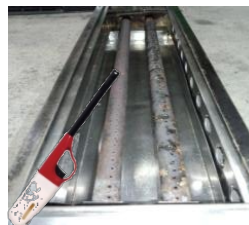
矢印の方向に差込みます。使用中に抜けないようにホースに付属する留め金で固定してください。

## ②開栓



ガスボンベの元栓を開き2カ所のコックを開きます。(矢印方向で開栓します)

## ③着火



ガス噴射口に着火します。100円ライター等ではなく、首の長いチャッカマンを使用してください。着火されたことを目視確認してください。(明るい場所では火が見えにくくなります)バーナーに**直火カバー**を被せてください。

## ④空気調整

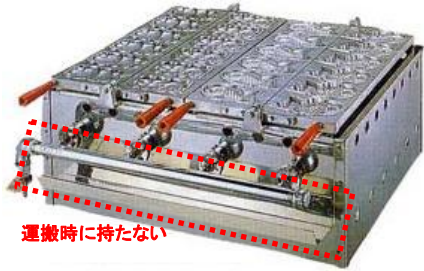


開く  
締める



(○:青火 ×:赤火)  
赤火は不完全燃焼状態です。青火なるまで、空気調整をしてください。

## 商品イメージ



## 商品詳細

サイズ: H280xW680xD570 重量: 49kg  
LPガス使用量: 0.76Kg/h

## 付属品



## 注意事項



風が吹き込まない環境で使用



使用中・使用後は高温注意



水平状態で使用



可燃物を周辺に置かない



換気できる環境で使用



機材への落下物に注意



機材の上下裏表注意



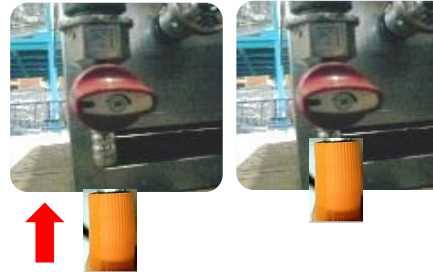
遮熱板を使用

●はじめて使用する場合やしばらく使用しなかった場合は、バーナーやホース内に空気が入っており、すぐに点火しません。空気が出きるまで、**何度か点火作業を繰り返してください。**

●持ち運びの際は**ガスパイプを持たない**てください。

●本商品は非常に重いため、**持ち運びの際には十分ご注意ください。**

## ①ガスホース接続



矢印の方向に差込みます。使用中に抜けないようにホースに付属する留め金で固定してください。

## ②開栓



ガスボンベの元栓を開き、本体元栓と3~4カ所のコックを開きます。(矢印方向で開栓します)

## ③着火



ガス噴射口に着火します。100円ライター等ではなく、首の長いチャッカマンを使用してください。着火されたことを目視確認してください。(明るい場所では火が見えにくくなります)

## ④空気調整



(○:青火 ×:赤火)  
赤火は不完全燃焼状態です。青火なるまで、空気調整をしてください。



## 商品イメージ



運搬時に持たない

## 付属品



鉄板



ヘラ2本組



あぶらひき

## 商品詳細

サイズ:H180xW600xD550 重量:47kg  
LPガス使用量:0.47Kg/h

## 注意事項



風が吹き込まない環境で使用



使用中・使用後は高温注意



水平状態で使用



可燃物を周辺に置かない



換気できる環境で使用



機材への落下物に注意



機材の上下裏表注意



遮熱板を使用

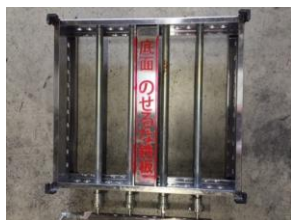
●はじめて使用する場合やしばらく使用しなかった場合は、パーナーやホース内に空気が入っており、すぐに点火しません。空気が出るまで、**何度か点火作業を繰り返してください。**

●持ち運びの際は**ガスパイプを持たないでください。**

●本商品は非常に重いため、**持ち運びの際には十分ご注意ください。**

●鉄板が本体にはめ込まれているか確認のうえ使用してください。

●本体を上下さかさまに使用する事故が発生しています。底面には注意書きがありますので、確認のうえ使用してください。



## ①ガスホース接続



矢印の方向に差込みます。使用中に抜けないようにホースに付属する留め金で固定してください。

## ②開栓



本体元栓



コック

ガスポンペの元栓を開き、本体元栓と3~4カ所のコックを開きます。(矢印方向で開栓します)

## ③着火



鉄板を置き、側面の穴からガス噴射口に着火します。100円ライター等ではなく、首の長いチャッカマンを使用してください。着火されたことを目視確認してください。(明るい場所では火が見えにくくなります)

## ④空気調整



開く



締める

(○:青火 ×:赤火)  
赤火は不完全燃焼状態です。青火なるまで、空気調整をしてください。

## 商品イメージ



## 付属品



## 商品詳細

サイズ: H180xW510xD260 重量: 8kg  
LPガス使用量: 0.18kg/h

## 注意事項



風が吹き込まない環境で使用



使用中・使用後は高温注意



水平状態で使用



可燃物を周辺に置かない



換気できる環境で使用



機材への落下物に注意



機材の上下裏表注意



遮熱板を使用

●はじめて使用する場合やしばらく使用しなかった場合は、バーナーやホース内に空気が入っており、すぐに点火しません。空気が出きるまで、**何度か点火作業を繰り返してください。**

●持ち運びの際は**ガスパイプを持たない**てください。

●本商品は重い**ため、持ち運びの際には十分ご注意ください。**

## ①ガスホース接続



矢印の方向に差込みます。使用中に抜けないようにホースに付属する留め金で固定してください。

## ②開栓



ガスボンベの元栓を開き、本体元栓と3~4カ所のコックを開きます。(矢印方向で開栓します)

## ③着火



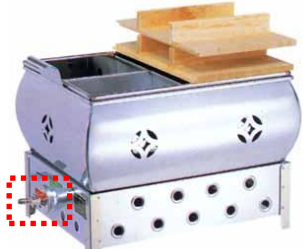
鉄板を置き、側面の穴からガス噴射口に着火します。  
100円ライター等ではなく、首の長いチャッカマンを使用してください。  
着火されたことを目視確認してください。(明るい場所では火が見えにくくなります)

## ④空気調整



(○:青火 ×:赤火)  
赤火は不完全燃焼状態です。青火なるまで、空気調整をしてください。

## 商品イメージ



運搬時に持たない

## 商品詳細

サイズ: H180xW510xD260 重量: 8kg  
LPガス使用量: 0.18Kg/h

## 付属品



おでん用おたま



さい箸

## 注意事項



風が吹き込まない環境で使用



使用中・使用後は高温注意



水平状態で使用



可燃物を周辺に置かない



換気できる環境で使用



機材への落下物に注意



機材の上下裏表注意



遮熱板を使用

●はじめて使用する場合やしばらく使用しなかった場合は、バーナーやホース内に空気が入っており、すぐに点火しません。空気が出きるまで、**何度か点火作業を繰り返してください。**

●持ち運びの際は**ガスパイプを持たない**てください。

## ①ガスホース接続



矢印の方向に差込みます。使用中に抜けないようにホースに付属する留め金で固定してください。

## ②開栓



ガスボンベの元栓を開き、コックを開きます。(矢印方向で開栓します)

## ③着火



鍋を置き、側面の穴からガス噴射口に着火します。  
100円ライター等ではなく、首の長いチャッカマンを使用してください。  
着火されたことを目視確認してください。(明るい場所では火が見えにくくなります)

## ④空気調整



(○:青火 ×:赤火)  
赤火は不完全燃焼状態です。青火なるまで、空気調整をしてください。

## 商品イメージ



運搬時に持たない

## 付属品

なし

## 商品詳細

2重コンロ LPガス使用量:0.52Kg/h

3重コンロ LPガス使用量:0.95Kg/h

## 注意事項



風が吹き込まない環境で使用



使用中・使用後は高温注意



水平状態で使用



可燃物を周辺に置かない



換気できる環境で使用



機材への落下物に注意



機材の上下裏表注意

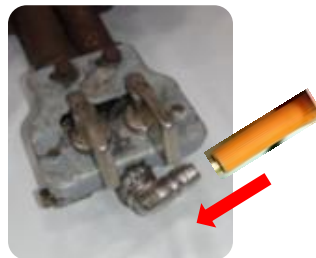


遮熱板を使用

●はじめて使用する場合やしばらく使用しなかった場合は、バーナーやホース内に空気が入っており、すぐに点火しません。空気が出きるまで、**何度か点火作業を繰り返してください。**

●持ち運びの際は**ガスパイプを持たない**てください。

## ①ガスホース接続



矢印の方向に差込みます。使用中に抜けないようにホースに付属する留め金で固定してください。

## ②開栓



ガスボンベの元栓を開き、コックを開きます。(矢印方向で開栓します)

## ③着火



ガス噴射口に着火します。100円ライター等ではなく、首の長いチャッカマンを使用してください。着火されたことを目視確認してください。(明るい場所では火が見えにくくなります)

## ④空気調整



開く



締める

(○:青火 ×:赤火)  
赤火は不完全燃焼状態です。青火になるまで、空気調整をしてください。



## 商品イメージ



## 付属品



## 商品詳細

サイズ: H230xW550xD450 重量: 19kg  
LPガス使用量: 0.37Kg/h

## 注意事項



風が吹き込まない環境で使用



使用中・使用後は高温注意



水平状態で使用



可燃物を周辺に置かない



換気できる環境で使用



機材への落下物に注意



機材の上下裏表注意



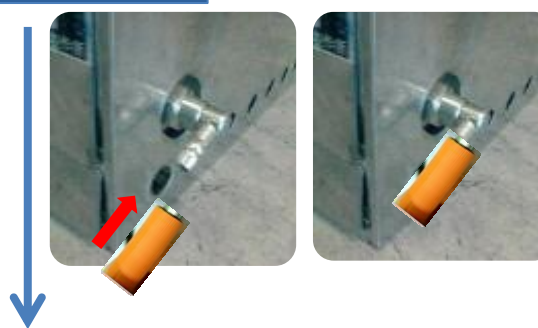
遮熱板を使用

●はじめて使用する場合やしばらく使用しなかった場合は、バーナーやホース内に空気が入っており、すぐに点火しません。空気が出きるまで、**何度か点火作業を繰り返してください。**

●持ち運びの際は**ガスパイプを持たない**てください。

●本商品は非常に重いため、**持ち運びの際には十分ご注意ください。**

## ①ガスホース接続



矢印の方向に差込みます。使用中に抜けないようにホースに付属する留め金で固定してください。

## ②開栓・着火



### 【電気着火式の場合】

点火つまみが、「閉」の位置になっていることを確認してください。  
点火つまみを押しながら「開」の方向にゆっくり回してください(点火つまみを押した時から「ジー」と音がします。点火つまみを押したまま数秒そのまま保持してください。何度か繰り返すと、着火されます。着火されたことを目視確認してください。(明るい場所では火が見えにくくなります)

### 【ライター着火式の場合】

点火つまみが、「閉」の位置になっていることを確認し、「開」の方向に回してください。側面の穴からガス噴射口に着火します。  
100円ライター等ではなく、首の長いチャッカマンを使用してください。  
着火されたことを目視確認してください。(明るい場所では火が見えにくくなります)





## 商品イメージ



## 付属品



かすとり網

## 商品詳細

サイズ: H400xW400xD500 重量: 25kg  
LPガス使用量: 0.54Kg/h

## 注意事項



風が吹き込まない環境で使用



使用中・使用後は高温注意



水平状態で使用



可燃物を周辺に置かない



換気できる環境で使用



機材への落下物に注意



機材の上下裏表注意



遮熱板を使用

●はじめで使用する場合やしばらく使用しなかった場合は、バーナーやホース内に空気が入っており、すぐに点火しません。空気が出きるまで、**何度か点火作業を繰り返してください。**

●本商品は非常に重いため、**持ち運びの際には十分ご注意ください。**

●使用後の油は廃油を行った後、**適正に処理してください。油凝固剤は絶対に使用しないでください。**

## ①ガスホース接続



矢印の方向に差込みます。使用中に抜けないようにホースに付属する留め金で固定してください。

## ②給油



油温計の上のボーダーラインまで食用油を12L程度を入れて下さい。油が少なすぎても、多すぎても正常作動せず、故障・火災の原因となります。

## ③着火



点火つまみが、「止」の位置になっていることを確認してください。点火つまみを押しながら「点火」の方向に、「カチッ」と音がするまでまわしてください。点火つまみを押したまま数秒そのまま保持してください。何度か繰り返すと、着火されます。着火されたことを点火窓より目視確認してください。(明るい場所では火が見えにくくなります)

## ④温度調節



温度調整ダイヤル(サーモ)より温度調整を行ってください。

## ⑤廃油



使用終了後・十分に油を冷まし、廃油をします。廃油切替レバーを矢印方向に回すと、レバー下の廃油ドレーンより廃油されます。油を受ける缶等を用意したうえで作業を行ってください。

## 商品イメージ



## 商品詳細

サイズ: H800xW640xD640 重量: 14kg  
消費電力: 1.2Kw

## 付属品



## 組立手順

### ①ネジの取外し



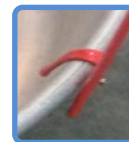
※3か所のネジを外します

### ②受け皿の取付



①のネジで3か所を固定します

### ③カバーの取付



フックでカバーを固定できます

### ④帽子の取付



## 利用手順

### ①電源を入れる



### ②アンペアを調整する



アンペア計の  
数値が「10A」  
になるように  
つまみを調整し  
てください。

### ③ザラメを投入



ザラメ投入後、  
煙が出る場合  
は、ダイヤルを  
下げて調整し  
て下さい。

### ④綿菓子を巻き取る



## 注意事項



電源容量注意



使用中・使用後は高温注意



水平状態で使用



換気できる環境で使用



機材への落下物に注意



機材の上下裏表注意

- ザラメは1回分ずつ入れてください。一度に大量に入れると故障の原因となります。
- 指定の色付きザラメ以外は故障の原因となるため、おやめください。
- 使用終了時はワタアメが完全に**出切ってから電源を切ってください**。出切っていない状態で回転釜が冷めると、ワタアメが目詰まりしてしまいます。
- 本商品は消費電力が多いため、同系統から別器具の電源を取らないでください。タコアシ配線で使用しないでください。
- 発電機からの電源供給は動作不良の原因となるため、おやめください。
- 使用中に回転釜に手や割り箸が触れないようご注意ください。

## 商品イメージ



## 付属品



スコップ

## 商品詳細

サイズ: H630xW450xD350 重量: 19kg  
消費電力: 1.2Kw

## 注意事項



電源容量注意



使用中・使用後は高温注意



水平状態で使用



換気できる環境で使用



機材への落下物に注意



機材の上下裏表注意

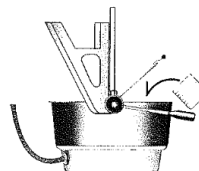
- 本商品は非常に重いので、**持ち運びの際には十分ご注意ください。**
- 釜部分は非常に高温になります。調理中は**ハンドル以外を絶対に触れないでください。**
- 調理には食用油が必要です。
- 味付きのポップコーンを作る際には、**釜からあふれ出てから味付けをしてください。**釜に調味料を入れると、焦げ付きや火災の原因となります。
- 本商品は消費電力が多いため、同系統から別器具の電源を取らないでください。タコアシ配線で使用しないでください。
- 発電機からの電源供給は動作不良の原因となるため、おやめください。
- 電源スイッチをONにしても、動作しない場合、ヒューズが飛んでいる可能性があります。ヒューズの交換については、次ページをご参照ください。

## ①スイッチON



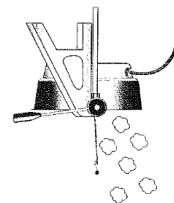
左の保温スイッチをONにした後、調理スイッチをONにしてください。調理釜が加熱されます。個の再窯が非常に高温になるため、絶対に触れないでください。5分ほどで十分加熱されます。

## ②材料投入



釜の蓋を開けます。その際、ハンドル部分を持ってあげてください。  
コーン120g～150g、油20g～30gを入れ、蓋を閉めてください。コーンが加熱されるとはじけて釜からあふれ出します。

## ③完成



はじける音が止んだら、ハンドルを使用し、釜を回して残りを落とします。

## ④味付



コーンを落とした後、味付けをしてください。味は調理釜に調味料は入れないでください。

調理を終える場合は、調理スイッチをOFFにしてください。空炊きは火災や火傷の原因となります。

## 原因と対策

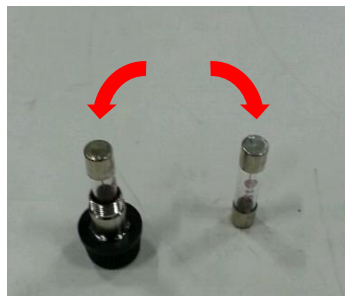
タコアシ配線等により、電気の供給が安定しないと、**過電流が発生**します。  
その過電流から本体を守るため、ヒューズが飛びます。  
過電流が発生する状況(タコアシ配線等)を解消したうえで、ヒューズ交換を行ってください。  
また、本商品は消費電力が多いため、**同系統の電源から複数器材の電源を取らないでください。**

## ヒューズの交換手順

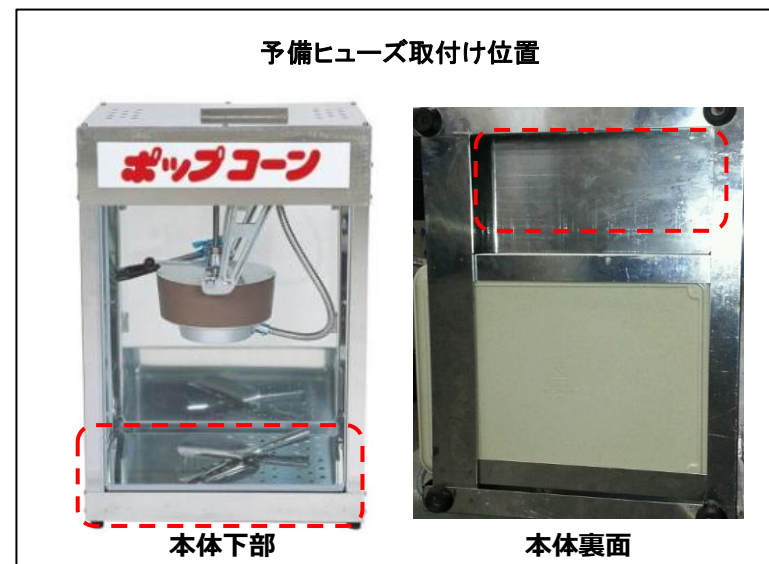
- ①作業開始前に電源をOFFにし、コンセントからプラグを外してください。  
本体が十分冷えるまでお待ちください。本体を冷却する際、**濡らさないでください。**
- ②本体裏に貼り付けてある、ヒューズを取り外してください。
- ③操作盤の左側にあるヒューズ差し込み口からヒューズプラグを引き抜き、  
使用中のヒューズを取り外して、予備のヒューズと交換してください。



ひねりながら、引き抜く



プラグから抜いて、交換



本体下部

本体裏面